

# 平成27年度 松尾小学校への出前講座について（報告）

## 1 目的

自治基本条例第23条に規定する開かれた議会運営に資するため、子どもの頃から行政や議会に関心を持ってもらう機会とする（「議会改革・運営ビジョン実現に向けた取り組み」の記載から）。

（参考）学校が設定したねらい

- (1) 社会科単元「私たちの願いをかなえる政治」の発展学習として、飯田市議会議員のみなさんと交流し、飯田市議会のしくみや、議員の方々の仕事を知る。
- (2) 議員のみなさんと和やかに交流することで、卒業前の思い出を作る。

2 日時 平成28年2月5日（金） 午前8時から午後1時20分まで

3 場所 飯田市立松尾小学校

## 4 市議会側参加者

- (1) 議長
- (2) 広報広聴委員会委員 7人
- (3) 議会事務局職員 2人

## 5 学校側参加者

- (1) 対象児童 飯田市立松尾小学校6年生児童 4クラス139人
- (2) 松尾小学校 6年生担任教諭 4人

## 6 出前講座実施の経過

1月12日に松尾小学校から、昨年同様に出席講座を実施して欲しいとの依頼を受ける。学校の希望日では、広報広聴委員全員が揃わず、準備期間も短いことから、1月14日に断りの連絡をする。それでも、再度松尾小学校から実施の依頼が来たことから、今後につながるように、1月18日正副委員長と事務局で学校を訪問し、担当の教諭が希望する内容や授業の形式等について確認。1月19日広報広聴委員会に経緯と学校と確認した事項を報告し、実施について諮り、実施することを決定。

学校から議員数が多い日を希望されたので、準備期間や議会日程から2月5日を設定。2月5日の1日だけで4クラス分の授業を行うスケジュール案を学校で立案し、議会側がそのスケジュール案に合わせる形で実施。

## 7 出前授業の内容（日程）

ア 全体会 8：15～8：45

- ①はじめのことば
- ②6年児童代表あいさつ
- ③議員代表あいさつ（木下克志議長）
- ④議員自己紹介
- ⑤議会についての説明（広報広聴委員会 村松委員長、福沢副委員長）  
議会の役割、議員数、選挙の大切さ、本会議及び委員会の審議の流れについて、パワーポイントを用いて説明。

イ クラスでの授業 9：00～12：20（1クラス35分の授業×4クラス）

- ①広報広聴委員会の説明（広報広聴委員会 村松委員長）
- ②1クラスを児童8人の班に分け、その班に議員2人が入り、自由に質問の受け答えを行う。
- ③議員から児童へのメッセージ（各クラス2人の議員が担当して行う）

**ウ 交流給食 12:40～13:05**

議員2人が、児童へのメッセージをした担当したクラスに行き給食を食べながら懇談する。

**エ 終わりの会（まとめ）13:10～13:15**

児童からお礼の挨拶と「ふるさと」の合唱を聴かせてもらいました。

**7 終了後**

- (1) 後日、松尾小学校からは貴重な学びができ、感謝しているとの連絡とともに、児童からの感想文の送付を受けました。
- (2) 児童の反応も概ね良好であった。

## ○松尾小学校への出前講座の反省（広報広聴委員会の意見まとめ）

### 1 良かった点

- (1) 出前講座を実施できたことが良かった。
- (2) 勉強になった。
- (3) 膝と膝を突き合わせて児童と話ができて良かった。
- (4) 子どもなりのいろいろな視点を持っていることを知ることができた。
- (5) 小人数の班ごとの話し合いができたことが良かった。
- (6) クラスごとに質問の形式の違いがあり良かった。
- (7) 子どもたちが地域のことを考える一つのきっかけになったのでは。
- (8) 給食を一緒にしたことが、子どもの素の姿や声が聴けて価値があった。

### 2 改善すべき点

- (1) 授業時間に余裕がなかった。班での話し合いにもう少し時間が取れば良かった。
- (2) 班の話し合いの進行は、慣れていないのでクラスや司会者(児童)により、時間的余裕がないのでどんどん質問するものあれば、関連した質問を出すような班など、進行方法に差があった。
- (3) 教室内で一斉に話すので、周りがザワザワして、児童の声が聴きづらかった。
- (4) 全体会でのパワーポイントの説明は、児童が一方向的に聞くことになり、クラス授業になって、班に分かれてからの話し合いがスタートという感じだった。昨年のように、クラス内で説明ができ、班での話し合いにもっと時間が取れたら良かった。

### 3 今後に向けた課題等

- (1) 昨年に引き続き、松尾小学校から依頼され実施したが、市内には19小学校があり、中学校も9校ある。議員の活動時間や能力も際限がある。今のように1校だけに特化した状態で続けて良いか。
- (2) 議会報告会での反省もあるが、小学生にこの形で出前講座を継続することが良いか、教育委員会の専門家も交えて論議が必要ではないか。今のまま希望する松尾小学校1校だけではどうか。(他の学校から指摘された場合に心配)
- (3) 出前講座だけでなく、上郷小学校からの議会の傍聴など、議会を知ってもらう方法は出前講座以外にもあるので、もう少し体系的に考えていく必要があるのでは。
- (4) パワーポイントの資料は、子ども達に残らない。(視察してきた渋谷区議会の資料を例示して) 議会のしくみについて配布できる資料を作成することも考えてはどうか。事前に資料を児童たちに渡して勉強しておいてもらえば、現場で話し合う時間をもっと取れるようになるのでは。
- (5) 出前講座は、広報広聴委員会として要請を受ければ実施する方向性であった。今回は、1月に急きょ依頼されたが、いつ要請されても良いように、閉会中の所管事務調査のように年間を通じて出前講座については実施できるように、事務手続きをしてもらう準備をしておくことが必要では。